

平成25年2月19日

各 位

三重県四日市市日永二丁目3番3号  
アップルインターナショナル株式会社  
代表取締役会長兼社長 久保 和喜  
(コード番号: 2788 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理本部長 近藤 則明  
TEL (059) 347-3515

## 平成24年12月期通期業績予想と実績値との差異ならびに 営業外収益・営業外費用および特別利益の発生に関するお知らせ

平成24年2月17日付で当社が公表いたしました平成24年12月期通期業績予想と本日公開の実績値について、差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### I. 業績予想の修正について

##### 1. 平成24年12月期(平成24年1月1日～平成24年12月31日)業績予想数値の修正

##### 【連結】

	売上高 (百万円)	営業利益及び 営業損失 (百万円)	経常利益及び 経常損失 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	29,269	693	456	97	778.4
今回実績値(B)	24,120	△44	△27	25	204.7
増減額(B-A)	△5,149	△737	△483	△79	△573.6
増減率(%)	△21.3%	—	—	288.8%	△280.1%
(ご参考) 平成23年12月期	27,300	110	△173	△708	△7,582.79

##### 2. 差異が生じた理由

売上高については、当初予想していた為替相場よりもさらに円高で推移した影響で日本からの輸出が伸び悩んだこと、中国子会社の主力商品であるメルセデスベンツのモデルチェンジが当初の予想より延期されたことなどにより、業績予想と比較して実績売上高は減少しました。

営業利益については、全体的な売上高の減少に加え、中国全体で新車販売の競争が激化、他社との値引き競争により1台あたりの利益額が減少しました。

さらに中国国内の販売強化するための追加的な広告宣伝費等の発生があったことから、当初予想を下回る結果となりました。

また、経常利益においては、為替相場の急激な変動により為替差益を計上いたしましたが、持分方適用関連会社における業績悪化の影響を受け、持分法損失を計上しております。特別利益においては、当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、投資有価証券売却益を計上いたしました。

当期純利益においては、当社連結子会社の繰延税金資産を取り崩すこととし、法人税等調整額を計上することとなりました。

その結果、前回発表予想と実績値に差異が生じました。

## II. 営業外収益・営業外費用および特別利益の計上について

### 1. 営業外収益ならびに営業外費用の計上について

#### ①為替差益の発生

為替相場の急激な変動に伴い為替差益 388 百万円を営業外収益に計上しております。

なお、上記の金額は当社グループが保有する外貨建債権債務の期末換算レートによる評価替で発生したものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

#### ②持分法による投資損失の発生

持分法適用関連会社における業績悪化を受け、当社の持分に応じた損失額 143 百万円を営業外費用に計上しております。

### 2. 特別利益の計上について

当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、投資有価証券売却益 250 百万円を特別利益に計上しております。

### 3. 繰延税金資産の取り崩しについて

当社連結子会社の当期の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、連結決算において、繰延税金資産を185百万円取り崩すこととし、法人税等調整額に計上しております。

詳細につきましては、本日開示しております「平成 24 年 12 月期決算短信」をご参照下さい。

以上